



4月18日

鳴沢地区 春祭り

雨のため、園児たちも舞台にあがり神楽を楽しみました。

2018
No.32

平成30年5月1日発行

3月定例会

- 平成30年度当初予算を可決 一般会計 前年度比1.6%増 …… P2~3
- 新年度 議会が注目する事業はこれだ!! …… P4~5
- 当初予算をチェック! …… P6~7
- 3月定例会で決まったこと …… P8~11
- 委員会活動「現場の声」を吸い上げ「鳴沢村に生まれてよかった」… P12
- 一般質問 村政を問う!! …… P13~15
- 議員レポートタブレットを活用しスムーズな議会運営 など … P16~17
- 村民の声「老いも若きも笑顔と活気あふれる村に」 …… P18

山梨大学と連携し観光等を強化

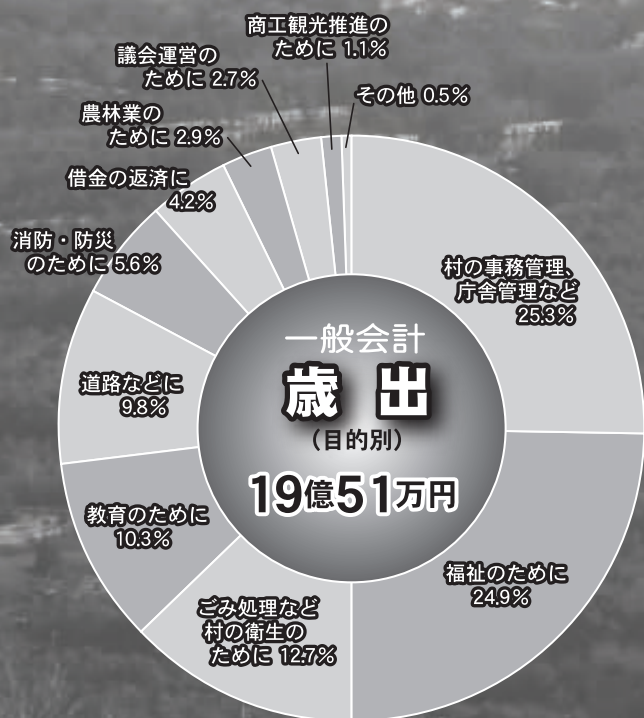
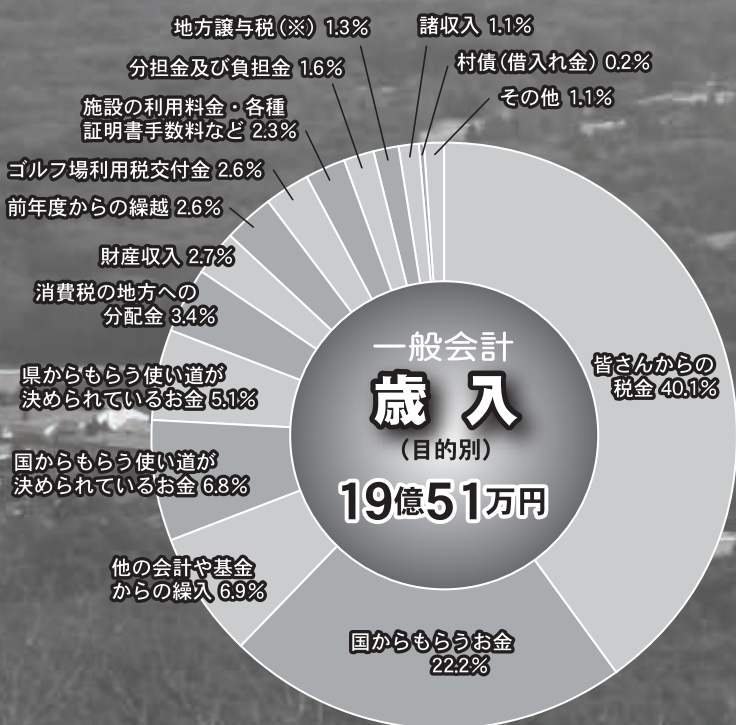
3月定例会 〈会期：3月12日～20日（9日間）〉

今定例会では、平成30年度の事業と予算を決定する当初予算をはじめ、平成29年度補正予算、教育長の人事案件や選挙管理委員会委員選挙など合計27議案が提出され、慎重に審議した結果、いずれも賛成全員にて原案可決しました。

当初予算の審議では、社会資本整備総合交付金を活用した村道改良事業費や、いきやりの湯への進入路の舗装打ち換え工事費、また、山梨大学と包括的に連携し様々な分野でまちづくりを進めていくための事業費などが可決されました。（詳細P4～5）

最終日には一般質問に5名の議員が登壇し、在宅医療の推進や医療費抑制の新たな施策、富

士山噴火防災対策など、様々な角度から村の姿勢を問い質しました。（詳細P13～15）



※地方譲与税

国税として徴収した特定の税目の収入の全額又は一部を、地方公共団体に譲与するもの。

平成30年度 当初予算を **可決**

総額26億9740万円 のむらづくり

一般会計 19億 51万円 前年度比 1.6% (2935万円) 増

おもな歳入

- ◆村 税 7億6193万円
- ◆地方交付税 4億2148万円
- ◆国・県支出金 2億2637万円

おもな歳出

- ◆村道改良事業 1億494万円
- ◆道の駅なるさわ防災駐車場整備工事 2367万円
(いきやりの湯進入路の舗装打ち換え等)
- ◆戸籍総合システム更新事業 1804万円
- ◆山梨大学包括的連携作業業務委託 50万円
(詳細P4~5)

昨年度同様、積極的に国・県支出金などの特定財源(※)を活用しています。

※特定財源

使い道が決まっている財源のことで、道路などの建設事業に使うために国からもらう補助金などのこと。

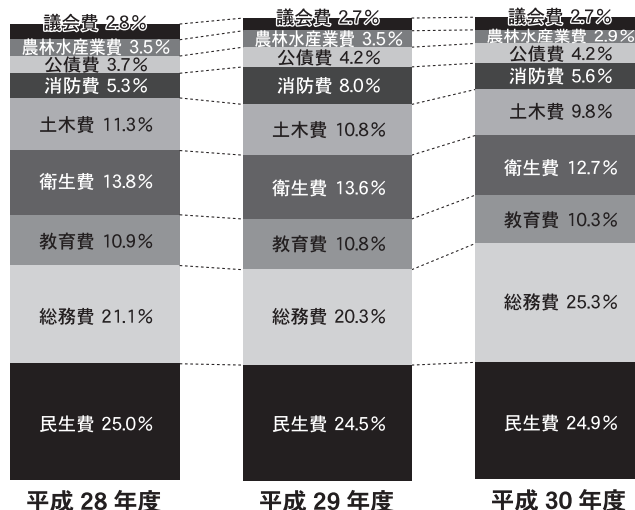
平成30年度一般会計・特別会計予算額

| 会計名 | 予算額 | 増減率 (前年度比) |
|------|---------------|---------------------|
| 一般会計 | 19億 51万 1千円 | 1.6% |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 3億 9557万 2千円 △20.7% |
| | 簡易水道事業 | 9846万 7千円 △23.8% |
| | 介護保険 | 2億 5825万 4千円 16.6% |
| | 介護予防支援事業 | 99万 1千円 △13.8% |
| | 後期高齢者医療 | 4360万 4千円 △0.8% |
| 合計 | 26億 9739万 9千円 | △2.5% |

一般会計予算の推移



※数値が低いため拡大してあります。



予算推移の分析

一般会計の支出分類からみると、総務費が大幅に増加しています。

これは、いきやりの湯の進入路の舗装打ち換え工事や、戸籍関係システムの更新ための費用が増加したことによるものです。

また、少子高齢化の影響により、歳出のうち民生費の占める割合は依然として高く、介護保険特別会計操出金の増加など、福祉・医療費に大きな予算が見込まれています。

一方で消防費は、昨年度契約した消防団ポンプ車両購入費の減少などにより、大幅な減少となりました。

新年度

議会が注目する事業はこれだ!!

平成30年度予算に盛り込まれた注目事業を一部取り上げました。

4月11日に
連携協定を締結



活気あるむらづくりに向け 山梨大学と包括的連携

50万円

観光や農業、福祉、教育、文化など様々な分野について、山梨大学と連携した取り組みが開始されます。相互に人的交流なども行い、新たな観光資源の発掘や、農業の6次産業化への提言など、鳴沢村の将来に向けて活気あるむらづくりが期待されます。

避難所に設置された
プライベートルーム
(写真提供: 忍野村役場)



避難所に プライベート空間を確保

30万円

災害対策用プライベートルームが配備されます。

避難所でのおむつ替えや授乳などの際にも、周囲の視線を気にすることなく、プライバシーが守られます。

みずみずしい
採れたての鳴沢菜



鳴沢菜の ブランド化を推進

150万円

鳴沢菜の地理的表示(GI)※取得にかかる費用の補助などが実施されます。

鳴沢菜を地域のブランドとして守ることにより、知名度向上、生産者の増加へとつながっていくことが期待されます。

※地理的表示(GI)・・・農林水産物等で、その名称から産地を特定でき、品質等の特性が当該産地と結びついていることを特定できる名称の表示。

紅葉台等の英語表記
トレッキングマップ
(2014年作成)



多言語表記の総合 292万円 観光パンフレットを作成

近年、富士北麓地域でも急増しているインバウンド観光(※)に対応するため、英語や中国語など多言語に対応した総合観光パンフレットが作成されます。

※インバウンド観光…訪日外国人による観光。
2013年以降、全国的に急増している。

5年生の英語の授業風景



小学校の外国語 91万円 教育を先行導入

2020年の新学習指導要領の全面実施に先駆け、5・6年生の外国語教育が先行して導入されます。

富士河口湖町と共同で外国語教師を雇用し、英語の授業が行われます。

有志による地域交流
イベントの様子



住民による地域 30万円 交流イベント開催を支援

自主的・主体的に地域づくりに取り組んだり、地域交流イベントを開催する団体に対し、活動補助金が交付されます。

住民の手による地域の活性化が期待されます。

屋内テニスコート場



屋内テニスコート場 250万円 を整備

体育協会テニス部の活動や、運動会などの村の行事でも長年使用し、傷んできている屋内テニスコート場(鳴樹館)のコートが、専門業者により補修・整備されます。

当初予算をチェック!

おもな議論を紹介します

予算決算常任委員会

委員長 渡 邊 政 司

予算決算常任委員会に付託された平成30年度当初予算案について、3月14.15.16日に委員会を開催し審査した

結果、いずれも賛成全員にて原案のとおり可決すべきものとなりました。

消防団員の確保

問 佐藤博水 人口流出により消防団員の確保に苦慮しているとのことだが、なにか対策は検討しているか。

答 総務課長 国の方針で、鳴沢村の住民でなくても、鳴沢村に勤めている者であれば団員として受け入れることができるようになったので、そういった方を勧誘していくことも検討している。

防災士(※)の養成

問 佐藤博水 防災士資格取得の助成など、防災士の養成に力を入れているようだが、適任者を探して資格取得を依頼するという考えはあるか。

答 総務課長 現在、資格取得者は2名で、昨年度の新規取得者はいなかったため、広報等で継続して募集をかけていくが、取得に係る負担も大きい村で直接お願いするという考えはない。

※防災士

地域における減災や防災力向上のための活動について、十分な知識・技能を持つ者として資格を取得した者。

東京オリンピック関連行事

問 三浦直樹 事前合宿誘致関連事業として、村内で催されるイベントなどはあるか。

答 企画課長 河口湖南中学校において、オリンピック・パラリンピック関係者による講演やイベントなどの開催を村からも提案しているが、具体的なことはまだ決まっていない。

人間ドック助成対象者の変更

問 三浦利雄 人間ドック受診の助成対象者等の変更の内容は。

答 福祉保健課長 従来は全村民を対象としていたが、予約が殺到し受診できない方も多いため、「特定健診は保険者が行う」という法令の内容に基づき適正な助成を行うため、平成30年度より国保及び後期高齢者医療保険の方のみを対象とする。

問 小林昭一 社会保険等加入者は一切助成対象とならないということか。少額の補助などの考えもないか。

答 福祉保健課長 補助額の問題ではなく、社会保険等の方は雇用者が健診等健康管理を行うことと法令で定められているので、村での対応はできない。

地域活性化団体への支援

問 渡邊明雄 地域活性化支援事業補助金の交付団体はすでに決まっているのか。

答 企画課長 まだ交付団体は決まっておらず、これから要綱などを整備していき、地域活性化や三代交流等のイベントを実施する団体に対して補助金を交付する予定である。

保育所駐車場の補修

問 佐藤博水 保護者より、駐車場の補修・整備について要望があったかと思うが、その点については検討したか。

答 住民課長 大雨の日などは大きな水溜まりができる箇所があるが、頻度は年間でそれほど多くなく、また、村道でもかなり水が溜まるところもあるため、村の予算上優先順位を考慮して先延ばしとなった。今年度は(薄くなった)区画線を整備する。

マイナンバーカード

問 三浦利雄 マイナンバーカードの発行枚数や利用についてはどのような状況か。

答 住民課長 詳細は把握していないが、まだかなり少ないと思う。確定申告や施設利用申請など、用途が広がって利便性が高まればもっと普及すると思う。そのために国でも大きな費用をかけて整備を進めている。

ゴミ出しのマナー

問 佐藤博水 以前もとりあげたが、ごみステーションに可燃ごみとして資源ごみが捨ててあることが多い。啓発等、さらに有効な対策を考えていただきたい。

答 住民課長 ごみの中身を確認して個人が特定できる場合などは、直接注意を促すなどの対応を行っている。可燃ごみが増加傾向にあるので、今後も分別等を推進していく。

通院等の移送サービス

問 小林昭一 車いす利用者等の通院等の移送サービスを行う外出支援車の新規購入を予定しているが、どのくらいの利用があるのか。

答 福祉保健課長 現在は月に10件ほどの利用がある。今後は運転免許証の返納や、別荘地で送迎を頼める親戚や知人が近くにいない場合など、利用者の増加も見込まれるため、経年劣化している車両を買い替える予定である。

小学校のポプラの継承

問 小林利雄 「文集ほぶら」や「ポプラっ子まつり」など、ポプラは鳴沢小学校のシンボリックなものであると考えているが、村道拡幅工事でポプラがなくなってしまう。若木を植えるなど、継承していく考えはあるか。

答 教育長 小学校の入口付近に1本あり、それは残るが、村道沿いのポプラの移植や若木を植えることについては、場所の問題もあり、現時点では考えていない。要望があれば検討する。

嘱託保育士の待遇改善

問 渡邊明雄 保育士について、正職員と嘱託職員は同様の職務・責任のもと、子ども達を預かっていると思うが、賃金の格差が大きいと感じる。その点はどのように考えているか。

答 住民課長 ご指摘のとおり以前は賃金格差が大きかったが、平成30年度から月額14,200円増額し、近隣の保育所と比較しても嘱託職員の待遇は良くなった。また、近隣ではあまりないが、特別手当も支給している。しかし、賃金を上げて保育士を確保するのは容易ではなく、課題である。

災害時の要援護者支援

問 小林昭一 災害時における別荘地区の要援護者について、避難等の支援体制はどのように考えているか。

答 福祉保健課長 要援護者の把握と、その方が普段使用している薬や緊急連絡先などを管理している。直接的な支援等は考えていないが、今年度、ヘルプカード(※)を作成し、災害時に地域全体でその方を支援していけるような体制を整えていく予定である。

※ヘルプカード

障がい者の方が災害時や日常生活の中で困った時に提示し、必要な支援や配慮を周囲に求めるために携帯するカード。

交通安全対策

問 三浦直樹 増加傾向にある交通事故の防止に向け、どのような交通安全対策を検討しているのか。

答 企画課長 警察署や安協の協力による街頭キャンペーンや、小学校等での交通安全指導、防災無線や広報を活用した交通安全啓発活動などを、今後も継続して実施していく。

問 佐藤博水 歩道橋の交差点で信号無視が多発しているので、対策を強化していただきたい。

答 企画課長 安協などとも相談し、対策を検討する。

28件の質疑がありました。その内13件を掲載しています。

村当局には、厳しい財政状況のなか
創意工夫をこらし、審査の過程で委員
より出された質疑・意見を予算執行に

活かし、平成30年度も健全な財政運営
を行うよう求めました。